

介護福祉科 実務経験を有する教員等による授業科目一覧

氏名	経歴	科目名	時間数	履修学年	実務経験と授業科目との関連性
五條 幸	身体障害者療護施設 特別養護老人ホーム 認知症デイ 介護職員 グループホーム 管理者 (実務経験 11年)	介護の基本(介護概論Ⅰ)	60時間	1年	障害者・高齢者介護の現場で介護に従事した実務経験のある教員が、意義や専門性、職業倫理、介護の基本姿勢など、介護福祉士としての基礎となる知識や考え方について教授する科目である。
		介護の基本(介護概論Ⅱ)	30時間	2年	障害者・高齢者介護の現場で介護福祉士として、また管理者として実務経験のある教員が、介護現場のチームケアや多職種連携、地域連携、リスクマネジメントなど、チームのリーダーとしての役割を担う上で必要な知識や方法について教授する科目である。
		介護過程Ⅰ	75時間	1年	障害者・高齢者介護の現場で介護に従事した実務経験のある教員が、根拠に基づいた介護実践につなげるための客観的で科学的な介護のプロセスについて教授し、実践力を身につけるための科目である。
小野千晴	盲人養護老人ホーム 支援員 サービス提供責任者 (実務経験 13年)	コミュニケーション技術演習	30時間	1年	高齢者介護の現場で介護等に従事した実務経験のある教員が、介護を必要としている人の言葉だけではない、コミュニケーション技術を学び、実践できることを身につけるため科目である。
		生活支援技術 (入浴・清潔・身支度の介護)	30時間	1年	高齢者介護の現場で介護等に従事した実務経験のある教員が、自立に向けた身じたく、入浴、清潔について、その介護を行う根拠をりかいし、将来の生活にどのように影響するのかを考え、実践できるようにすることを教授する科目である。
		生活支援技術(睡眠)	15時間	1年	高齢者介護の現場で介護等に従事した実務経験のある教員が、睡眠とは何か、睡眠が生活に与える影響について、根拠を学び実践できることを身につけるための科目である。
長屋敦志	老人保健施設 介護職員 支援相談員 (実務経験 6年)	生活支援技術(排泄Ⅰ)	15時間	1年	高齢者介護の現場で介護等の実務経験のある教員が、個人の尊厳に配慮しながら、快適な排泄をサポートするための基本を学ぶための科目である。
		生活支援技術(排泄Ⅱ)	15時間	2年	高齢者介護の現場で介護等に従事した実務経験のある教員が、1年次に習得した知識や技術を生かし、障害だけで着目した援助ではなく、その人の生活環境や生活歴にも配慮した援助方法について考えていくための科目である。
		生活支援技術(移動Ⅱ)	15時間	2年	高齢者介護の現場で介護等に従事した実務経験のある教員が、移動がその人の生活・人生の中でどのような意味を持つのか、単なる介護技術ではなく、自立支援の視点から考え実践することができる力を学ぶための科目である。
永平 隼	病院 特別養護老人ホーム 介護職員 (実務経験 7年)	生活支援技術(移動Ⅰ)	30時間	1年	病院や高齢者施設で介護に従事した実務経験のある教員が、単に移動するという「動作」としての技術を学ぶのではなく、介助を必要とする人の主体性を引き出しながら、心理的提供や具体的な背景を理解し、「生活行為」を介助するための知識と技術を習得するための科目である。
		生活支援技術(食事Ⅰ)	15時間	1年	病院や高齢者施設で介護に従事した実務経験のある教員が、適切な食事介護の方法やさまざまな工夫を考える力を身につけるために、食事の意義と目的、栄養や食事動作の基礎知識について学ぶための科目である。
		生活支援技術(食事Ⅱ)	15時間	2年	病院や高齢者施設で介護に従事した実務経験のある教員が、食事や栄養の基礎知識について理解を深めるとともに、身体機能・感覚機能低下や嚥下障害、認知症など、その状態に応じた適切な食事介護の技術を演習で習得する科目である。
		実務経験者の授業合計	345時間		